



能宗 正洋
（45分）
誠友会

〔仮称〕備後動物公園構想は

問 ①芦田を楽しみやすくする会の取り組みを支援していく必要があると考えるが。

②市立動物園の今後の在り方は。

答 ①地域の資源を活用して活力を高めていきたいという思いは市が進めている地域の拠点づくりの方向性とも一致するものである。



清水 寛敏
（60分）
市民連合

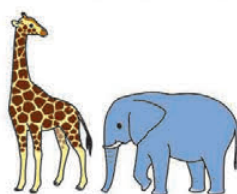
新年度予算編成方針は

問 歳入確保策と市民負担の今後の考え方の基本は。

答 新たな総合的な財政確保に取組むほか、基金の効果的な活用などにより、歳入の確保に努めていく。市税については、市民負担の公平性の確保に努め、納税者の信頼を得る中で、自主財源の確

住民による議論と実践活動の両輪により、地域の拠点づくりは進んでいくものであり、改めて、芦田町の皆さんのご意見を丁寧聞き、どのような支援ができるかを考えていく。

②来園者のニーズを改めて把握する中で、動物園管理者の思いも聞きながら、動物、来園者の双方にとって、より快適な環境で魅力ある動物園となるよう施設整備やサービス等の在り方について検討していく。



県が導入する宿泊税は

問 単なる税収としてではなく地域に還元する仕組みとすることが重要だが。

答 広域周遊観光の推進や観光施設の整備、体験コンテンツの造成など、宿泊客の増加や滞在時間の延長につながる施策を実施していく。



小山 友康
（60分）
市民連合

人権施策の推進は

問 昨年6月に福山市人権施策基本方針が改訂された。その考え方と施策の具体は。

答 いわゆる人権三法や福山市人権尊重のまちづくり条例の制定、SNSの普及など社会状況の変化を踏まえ、より現状に即した人権施策を推進するため改定したもの



山田 由美
（60分）
市民連合

こどもの権利を守るための施策は

問 ①こどもの意見表明の機会の確保は。

②こどもの権利条例の制定は。

答 ①現在学校では、生徒指導規程の作成や生徒会活動、修学旅行の企画など、児童生徒が主体となった議論を通じて、考える機会

である。差別のない、誰もが真に大切にされる社会をめざすことを基本理念に、市民や事業者などへの啓発による人権意識の向上、相談体制の充実や法務局などの関係機関と連携した人権擁護の推進などの施策を方向性として掲げ、女性、こども、高齢者、障がいのある人、被差別部落出身者、外国人市民、性的マイノリティーなどの分野ごとに、行政、市民、事業者が役割分担する中で推進していく。



を多く設けるようにしている。今年度、心の健康観察システムを導入し、児童生徒が声に出せない心の動きを、教職員が早期に察知し適切な支援を行うこととしている。②こどもの権利を守るためには、地域社会全体に、こどもは権利の主体であるという基本理念を浸透させることが重要である。こどもの権利条例については、現段階で制定は考えていない。



※人権三法：2016年に施行された、障がいのある人、外国人および被差別部落出身者の差別解消を目的とする3つの法律（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律、部落差別の解消の推進に関する法律）。